

漢方薬でできること

1. やせる

(62) 防風通聖散 + (69) 茯苓飲

生活習慣の改善、糖質制限食、軽い運動はできる範囲でやるのは前提です。
2-3kgは簡単です。5-6kg以上は厳しめの食事制限と運動負荷が必要です。



2. 寝つきをよくしたい

(103) 酸棗仁湯 + (137) 加味帰脾湯

心療内科、精神科の内服薬は併用可能です。



3. 肌をキレイにしたい

(57) 温清飲 + (125) 桂枝茯苓丸加薏苡仁

慢性湿疹、アトピー性皮膚炎、尋常性乾癬など、皮膚が赤黒く、かゆみを伴う場合に
使います。抗アレルギー薬、抗生剤の併用は可能です。



4. 月経中のイライラを何とかしたい

(24) 加味逍遙散 + (54) 抑肝散

月経前後でイライラが増して、頭痛を伴うことがあり、カリカリする気分も追加されると
ずっと機嫌が悪くなります。



5. パニック発作をおさえたい

(39) 苓桂朮甘湯 + (72) 甘麦大棗湯

パニック発作時に1包ずつ屯服的に内服します。
両者とも甘くて飲みやすい漢方薬なので助かります。



6. 手元にある漢方薬で花粉症を治す

(19) 小青竜湯 + (95) 五虎湯

アレルギー性鼻炎(花粉症を含む)に(19)+(95)で飲んでみます。
この組み合わせは「竜虎湯」と呼ばれています。



7. 顔のほてり、頭痛、熱中症

(34) 白虎加入参湯 + (17) 五苓散

春先から真夏まで使えます。



漢方薬の枠を広げます

現況

現在、多くの方に漢方薬を愛用していただいております。
生後1ヶ月の赤ちゃんから80歳を超える方まで上手に漢方薬を使っておられます。
カゼから冷え症、月経関連症状、神経症、便秘、皮膚疾患、内科的疾患に至る
まで対応する病気は多岐にわたります。

漢方外来の 時間帯

毎週木曜日の午後2時から5時半までを漢方外来として診療をしています。
この時間帯は高齢の方、抗がん剤や化学療法の治療中で、免疫が下がっている
方もおられるため、この時間帯はカゼなどの感染症の方は受診を控えてもらって
います。
ただし、急患の方は事前に御連絡していただいで対応しています。

今回の 変更点

漢方薬を希望される方が少しでも多く受診できるように**火曜日の午後も漢方外来**
とします。
ただし、お子さんのカゼなどの診療も行います。
高熱のある方などは事前に御連絡をいただけるとありがたいです。



漢方薬は通常の外来診療中も処方しています。
大人の方でも気軽に申し出て下さい。
よろしくお願ひします。

注
意
点

お知らせ

岐阜市の漢方外来予定日 4月18日(土)、25日(土)
時間: 14:00-17:30 場所: 中島小児科(岐阜市健康東町2-1) ※すべて「院外処方」です。

小児夜間急病センター当番日 4月17日(金)
19:30-22:30(受付) 場所: 岐阜市民病院にて

休診のお知らせ 4月4日(土)、8日(水)、22日(水)
都合により休診します。御迷惑をおかけしますが、よろしくお願ひします。